



2024年8月30日

各位

株式会社ラクーンホールディングス  
代表取締役社長 小方 功  
(コード番号：3031 東証プライム)  
問い合わせ先：  
取締役財務担当副社長 今野 智  
電話：03-5652-1711

## 2025年4月期第2四半期業績予想の公表について

当社は、2024年8月30日開催の取締役会において、未公表でありました2025年4月期第2四半期の業績予想を下記の通り決議しましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2025年4月期第2四半期（累計）連結業績予想値の修正（2024年5月1日～2024年10月31日）

|                             | 売上高      | 営業利益     | 経常利益     | 親会社株主に<br>帰属する<br>中間純利益 | 1株当たり<br>中間純利益 |
|-----------------------------|----------|----------|----------|-------------------------|----------------|
| 前回発表予想（A）                   | 百万円<br>— | 百万円<br>— | 百万円<br>— | 百万円<br>—                | 円<br>—         |
| 今回修正予想（B）                   | 3,000    | 580      | 570      | 250                     | 11.68          |
| 増減額（B-A）                    | —        | —        | —        | —                       |                |
| 増減率（%）                      | —        | —        | —        | —                       |                |
| （参考）前期実績<br>（2024年4月期第2四半期） | 2,819    | 326      | 326      | 202                     | 9.37           |

#### 2. 修正の理由

当社は通期での業績管理を行っていることから、第2四半期（累計）の連結業績予想につきましては例年、未公表としておりました。前期（2024年4月期）は、EC事業、フィナンシャル事業ともに広告宣伝費を大幅に増強（前期比84.3%増）し、顧客獲得ペースを加速させることに取り組みました。第2四半期以降にTV-CMやキャンペーンなど大規模なプロモーション投資を実施したことで、第1四半期の利益水準が大きく、プロモーション投資を増強した第2四半期以降は利益水準が例年と比べても小さくなる結果となりました。今期（2025年4月期）の広告宣伝費の使い方は、前期とは違い各四半期で大きな変動を予想していないため、今期の前年比利益成長率は上半期（特に第1四半期）が相対的に低く、下半期が相対的に高くなる予想です。そのため通期の連結業績予想の公表だけでは、投資家の皆様に誤解を与える可能性があります。そのため、現時点での入手可能

な情報に基づいて 2025 年 4 月期第 2 四半期（累計）の連結業績予想数値を公表することといたしました。

※上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上